

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

上場取引所 東大

コード番号 8242 URL <http://www.h2o-retailing.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 若林 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 森 忠嗣

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

TEL 06-6365-8120

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	114,928	△7.2	2,087	△36.9	3,099	△27.0	1,868	△25.5
21年3月期第1四半期	123,862	—	3,308	—	4,248	—	2,509	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.06	8.24
21年3月期第1四半期	12.15	11.06

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	324,447	160,829	49.5	778.71
21年3月期	323,044	153,994	47.6	745.56

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 160,673百万円 21年3月期 153,838百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	6.25	—	6.25	12.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	225,800	△8.5	2,000	△66.7	2,700	△63.2	700	△82.3	3.39
通期	460,000	△9.7	6,000	△55.3	6,800	△55.6	2,700	△57.7	13.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 206,740,777株 21年3月期 206,740,777株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 407,876株 21年3月期 401,899株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 206,335,408株 21年3月期第1四半期 206,550,758株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、資料の5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月～6月）においては、世界的な景気減速の影響を受け、企業収益の落ち込みやそれに伴う雇用環境、所得水準の悪化から、生活防衛意識や節約志向が高まり、小売を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況の中、主力の百貨店事業を中心に売上が苦戦し、連結売上高は、114,928百万円、前年同期比92.8%、営業利益2,087百万円、前年同期比63.1%となりました。

《連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	114,928	92.8
営業利益	2,087	63.1
経常利益	3,099	73.0
四半期純利益	1,868	74.5

事業別セグメントの概況は次の通りです。

【百貨店事業】

阪急百貨店と阪神百貨店の経営統合以降、両百貨店間では、それぞれ既存ハウスカードの相互利用という形で両店の買い回り促進を進めてまいりましたが、本年4月には、両店の外商機能を統合し、外商カードを一体化するとともに、「阪急百貨店ペルソナカード」を「阪急阪神ペルソナカード」に変更し、両店共有のハウスカードとしました。

当第1四半期連結累計期間は、個人消費の低迷に加え、5月中旬に関西地区を中心に発生した新型インフルエンザの影響を一時的に受けましたが、ハウスカード顧客を対象にした優待施策の強化や阪急うめだ本店I期棟の9月開業に向けて、5月27日から「生まれ変わりの売りつくしセール」を実施するなど、売上の嵩上げを図るとともに、情報システムを活用した、きめ細かい商品管理や経費管理のさらなる徹底を図り、効率化を進めました。

これらの結果、売上高86,590百万円、前年同期比92.9%、営業利益1,521百万円、前年同期比59.4%となりました。

《百貨店事業の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	86,590	92.9
営業利益	1,521	59.4

【スーパーマーケット事業】

スーパーマーケット事業では、本年4月に京都市内に阪急オアシス伏見店（京都市伏見区）を出店し、店舗数は59店舗となりました。また、引き続き既存店舗の収益力強化にも取り組み、阪急オアシス服部西店（大阪府豊中市）や阪急ファミリーストアあべの店（大阪市阿倍野区）などの店舗改装を実施いたしました。

食品スーパーでは、景気悪化の影響により、客単価が低下しましたが、集客のための販促強化が奏功し、客数は前年を上回り、既存店ベースの売上高は前年同期比97.9%となりました。

事業全体では、新店効果や新設した惣菜工場の本格稼働により、売上高は22,126百万円、前年同期比100.2%、営業利益は184百万円、前年同期比100.8%となりました。

《スーパーマーケット事業の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	22,126	100.2
営業利益	184	100.8

【PM(プロパティマネジメント)事業】

プロパティマネジメント事業では、株式会社阪急商業開発において、既存S Cの店頭売上低迷により賃料収入が減少し、また、ビジネスホテルを運営する株式会社アワーズイン阪急においても、ビジネス需要の減少により客室稼働率が低下し、減収となりました。

これらの結果、売上高は2,194百万円、前年同期比97.1%、営業利益325百万円、前年同期比93.7%となりました。

《PM事業の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	2,194	97.1
営業利益	325	93.7

【その他事業】

その他事業の売上高は、一部子会社売却による影響もあり、売上高は4,015百万円、前年同期比63.3%、営業利益984百万円、前年同期比48.4%となりました。

その中で、個別宅配事業を行う株式会社阪急キッチンエールが、昨年4月以降のエリア拡大により、会員数が前年同期比で約4,000名増加したことに加え、会員顧客のニーズに応えるため、雑貨アイテムの拡大やカタログ紙面の充実を図り、母の日、父の日などモチベーション対応を強化した結果、客単価が向上し、増収増益となりました。

《その他事業の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	4,015	63.3
営業利益	984	48.4

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は324,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,402百万円増加しました。これは主に、法人税の納税などにより、現金及び預金が10,715百万円減少した一方、株式の含み益の増加等により投資有価証券が8,457百万円増加したほか、受取手形及び売掛金が3,350百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は163,617百万円となり、前連結会計年度末から5,432百万円減少しました。これは主に、法人税の納税による未払法人税の減少2,055百万円、賞与の支給による賞与引当金の減少2,455百万円などによるものです。

また、純資産は160,829百万円と前連結会計年度末から6,834百万円増加しました。これは利益剰余金が578百万円増加したほか、その他有価証券評価差額金が6,232百万円増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は49.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績はほぼ予定通り推移しており、平成21年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④ 実地棚卸の省略

当第1四半期連結会計期間末の棚卸資産の算出に関して、一部の実地棚卸を省略し、前連結会計期間末に係る実地棚卸高等を基礎として合理的な方法により算出しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,174	39,890
受取手形及び売掛金	23,964	20,613
有価証券	608	609
商品及び製品	16,800	16,128
仕掛品	126	102
原材料及び貯蔵品	562	684
繰延税金資産	3,892	5,025
短期貸付金	627	512
未収入金	3,036	3,738
その他	2,865	2,197
貸倒引当金	△140	△157
流動資産合計	81,519	89,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,193	44,592
機械装置及び運搬具(純額)	1,139	1,159
土地	32,640	32,493
建設仮勘定	9,060	3,785
その他(純額)	5,019	5,365
有形固定資産合計	91,053	87,396
無形固定資産		
のれん	17,729	17,971
その他	6,806	7,179
無形固定資産合計	24,536	25,151
投資その他の資産		
投資有価証券	72,621	64,163
長期貸付金	1,858	1,862
差入保証金	39,452	40,955
繰延税金資産	11,824	12,487
その他	1,617	1,719
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	127,338	121,153
固定資産合計	242,927	233,700
資産合計	324,447	323,044

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,013	30,456
1年内返済予定の長期借入金	238	238
未払法人税等	533	2,589
商品券	21,828	21,307
繰延税金負債	9	239
賞与引当金	2,158	4,613
役員賞与引当金	20	80
店舗建替損失引当金	3,227	3,227
関係会社事業再編引当金	—	971
その他	22,908	25,122
流動負債合計	79,937	88,845
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,921	20,921
繰延税金負債	13,016	9,294
再評価に係る繰延税金負債	348	348
退職給付引当金	18,128	18,292
役員退職慰労引当金	92	100
店舗建替損失引当金	1,179	1,178
商品券等回収引当金	1,819	1,784
長期未払金	764	795
長期預り保証金	7,379	7,433
その他	29	55
固定負債合計	83,680	80,204
負債合計	163,617	169,049

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	37,172	37,172
利益剰余金	96,186	95,607
自己株式	△283	△280
株主資本合計	150,871	150,296
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,136	3,903
土地再評価差額金	42	42
為替換算調整勘定	△377	△404
評価・換算差額等合計	9,801	3,541
新株予約権	45	45
少数株主持分	111	111
純資産合計	160,829	153,994
負債純資産合計	324,447	323,044

(2) 四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	123,862	114,928
売上原価	87,914	82,255
売上総利益	35,948	32,672
販売費及び一般管理費	32,639	30,585
営業利益	3,308	2,087
営業外収益		
受取利息	96	40
受取配当金	434	533
諸債務整理益	381	380
その他	428	547
営業外収益合計	1,340	1,502
営業外費用		
支払利息	11	59
商品券等回収引当金繰入額	294	276
その他	94	153
営業外費用合計	400	489
経常利益	4,248	3,099
特別利益		
投資有価証券売却益	—	33
固定資産売却益	58	—
特別利益合計	58	33
特別損失		
固定資産除却損	44	16
特別損失合計	44	16
税金等調整前四半期純利益	4,262	3,116
法人税、住民税及び事業税	432	292
法人税等調整額	1,316	956
法人税等合計	1,748	1,248
少数株主利益	4	—
四半期純利益	2,509	1,868

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,262	3,116
減価償却費	2,266	2,280
のれん償却額	241	241
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△107	△16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,228	△2,403
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△103	△60
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	158	△76
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△442	△8
商品券等回収引当金の増減額 (△は減少)	65	35
関係会社事業再編引当金の増減額 (△は減少)	—	△971
受取利息及び受取配当金	△531	△574
支払利息	11	59
持分法による投資損益 (△は益)	△1	13
固定資産売却損益 (△は益)	△58	—
固定資産除却損	44	16
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△33
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,277	△3,509
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,507	△808
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,156	△1,245
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△617	309
その他	678	△487
小計	△4,301	△4,120
利息及び配当金の受取額	479	576
利息の支払額	△1	△106
法人税等の支払額	△4,898	△2,143
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,722</b>	<b>△5,794</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△5,000
有形固定資産の取得による支出	△5,012	△6,006
有形固定資産の売却による収入	293	1
無形固定資産の取得による支出	△1,425	△992
無形固定資産の売却による収入	7	—
投資有価証券の取得による支出	△2,237	△5
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	10	1,933
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,431
その他	—	△12
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,364</b>	<b>△8,650</b>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△11	△4
自己株式の売却による収入	1	—
配当金の支払額	△1,291	△1,289
少数株主への配当金の支払額	△3	—
その他	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,304	△1,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18,433	△15,715
現金及び現金同等物の期首残高	54,687	34,866
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,254	19,150

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) (単位: 百万円)

	百貨店事業	スーパー マーケット事業	PM事業	その他 事業	計	消 去 又は全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	93,179	22,078	2,261	6,342	123,862	—	123,862
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	674	143	6,163	7,008	(7,008)	—
計	93,207	22,753	2,404	12,505	130,870	(7,008)	123,862
営 業 利 益	2,562	182	347	2,034	5,126	(1,818)	3,308

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位: 百万円)

	百貨店事業	スーパー マーケット事業	PM事業	その他 事業	計	消 去 又は全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	86,590	22,126	2,194	4,015	114,928	—	114,928
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	775	137	5,247	6,246	(6,246)	—
計	86,675	22,902	2,332	9,263	121,174	(6,246)	114,928
営 業 利 益	1,521	184	325	984	3,016	(929)	2,087

(注) 事業区分の方法: 当社企業集団の事業区分は事業内容を勘案して決定しております。

2. 所在地別セグメント情報

所在地別セグメント情報は、全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 海外売上高

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

【参考資料】

株式会社阪急阪神百貨店の業績について

阪急百貨店と阪神百貨店は、平成20年10月1日付けで合併いたしました。平成21年度実績に対する前年同期比につきましては、平成20年4月1日から平成20年6月30日までの旧阪神百貨店の実績を含めた実質ベースの数値と対比しております。

1. 第1四半期の業績

(単位:百万円)

	平成22年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
売上高	86,249	93.0%
売上総利益	22,380	90.3%
その他の営業収入	425	85.6%
営業総利益	22,806	90.2%
販売費及び一般管理費	21,207	93.6%
営業利益	1,599	60.6%

2. 店別売上高

(単位:百万円)

	平成22年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
阪急うめだ本店(注)1	37,488	89.3%
千里阪急	4,217	92.5%
堺 北花田阪急	2,410	99.5%
川西阪急	4,499	90.0%
宝塚阪急	2,302	89.9%
神戸阪急	2,380	81.6%
三田阪急	343	92.6%
西宮阪急(注)2	4,201	-
四条河原町阪急	1,087	80.6%
有楽町阪急	2,312	80.2%
都筑阪急	2,014	93.3%
阪神梅田本店	20,389	89.1%
阪神・にしのみや	1,133	94.0%
さんのみや・阪神食品館	289	90.2%
阪神・御影	664	77.8%
店舗事業計	85,736	93.7%
広域事業	512	40.7%
合計	86,249	93.0%

(注)1 イングス館、メンズ館を含む

(注)2 平成20年11月26日開店

3. 商品別売上高

(単位:百万円)

	平成22年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
衣料品	31,008	92.9%
身の回り品	12,291	88.7%
家庭用品	3,496	100.0%
食料品	26,564	97.4%
食堂・喫茶	2,088	115.4%
雑貨	9,584	81.5%
サービス	780	112.5%
その他	434	100.8%
合計	86,249	93.0%